

「今年のにほんごコンテスト2024」

入賞作品一覧

□一般の部

(順不同・敬称略)

別	今年のにほんご	応募者名	住所	理由
1席	かがやき	きどば たかゆき 木戸場 孝行	神奈川県横浜市	石川県の加賀が早く復興して頂きたい思いから、かがの響きにあやかり、「かがやき」また北陸新幹線が敦賀駅まで延伸開業。する年なので。兎にも角にも石川県加賀国が早くかがやきますように。
2席	がっぱになれま!	いけなが かずひろ 池永 一広	大阪府高槻市	石川県の方言で、「がっぱになれま!」。「頑張れ!」と同じ、励ましの言葉です。今年の1月1日に発生した、能登半島地震。津波をはじめ、建物倒壊、火災の発生など甚大な被害をもたらしました。山代温泉でも大打撃を受けました。加賀市には、北陸新幹線加賀温泉駅開業を控える大きな夢があります。復興に向けて、<今年のにほんご>にふさわしく、「がっぱになれま!」という言葉、心からエールを送る言葉としたいと思います。
	やんわり	たにみち めぐみ 谷路 恵美	大阪府大阪市	人と接する時やお話する時、目上の方、年下の方、お客様、お店の方、全てにおいて「やんわり」を心掛けています。お互いにとても気持ちが良いものです。
3席	まつがねの	まえだ れい 前田 黎	兵庫県三田市	元日から襲った能登半島地震。失われた命やまだ発見されていない命がどれほどあることだろう。この「まつがねの」は松の根が長く伸びる様から「絶えない」という意味をもつ枕詞である。また「松」と「待つ」を掛けており、大切な人の帰りを待ち続ける真摯さを感じる。いつまでも、いつまでも。
	『初』はつ	きたやま 北山 イスズ	石川県金沢市	初売り、初荷、書初め、初詣、初孫、初誕生、初物、、、、 初給料の嬉しかったこと! 『初』には 初めて以上の 希望・期待・興奮・喜び・幸せを感じます。
	かいがいしく	あんどう ともあき 安藤 知明	大阪府豊中市	樺太から引き揚げてきて、北海道の開拓地に入植した。働き者の両親を助けようと、私も放課後は、雑草を引き抜いたり害虫を指で摘み取ったりとよく畑で手伝いをした。 ある日、通りがかりのおばさんから「かいがいしくお手伝いしているね」と声をかけられた。「かいがいしく」の意味は分からなかったが、子供ながらいい気分になったものだ。「かげひなたなくききびとする様」と知ったのは、中学生になってから出あった。
	あかねさす	ふじかわ しんすけ 藤川 真輔	神奈川県横浜市	あかねさすとは短歌の枕詞で、「日、昼、紫」など光に関係する言葉を導きます。年が始まった途端にさまざまな震災に見舞われた日本、これからはこの言葉が日本中に光を導いてくれますように。
	春隣	くわた やよい 桑田 弥生	鳥取県鳥取市	「子ども食堂」を始めて今年で10年目。大家族のようにワイワイ言いながら食卓を囲むひとは、ホッと心む素敵な空間で包まれます。 ここから巣立った子どもたちは今では学生や社会人となり元気に活躍しているようです。これまで様々な家庭環境の中、子ども心に悩むことも沢山あったことでしょう。 「はるとなり」一。私たち「こども食堂」も春風のように子どもたちの傍らでそっと寄り添う存在でありたいと思います。
	たおやか	さとう ひろこ 佐藤 博子	静岡県静岡市	若い頃にこの言葉を知って、ずっと今も指針として胸にある言葉です。 まず優雅さや品の良さ、穏やかさややわらかさをイメージしますが、 語源が「撓む」であることから しなやかに曲がるということも知りました。 力を加えられても、折れずに、柔軟に。 優しくも芯の強さもある女性。今もこれからも、私の思念です。
	たゆまぬ	ふじもと ともゆき 藤本 智行	福井県福井市	中学校の校歌の歌詞に「たゆまぬ努力」とありました。あまり真面目に歌わなかったのですが、自分は「絶ゆまぬ」だと勘違いしていました。「絶え間ない」の変形だと思っていたのです。正しくは「弛まぬ」だと知った時には、校歌を歌おうにも歌詞がかなり怪しい大人になっていました。年明けすぐ能登で地震があり、隣県である福井もかなり揺れました。被災地も自分も「たゆまぬ」歩みをして行きたいものです。
	まにまに	なるみ りかこ 鳴海 里香子	愛知県北名古屋市	他人の意思や成り行きに任せるという意味で、古事記や万葉集にもある歴史の長い言葉です。菅原道真の「このたびは幣も取りあへず手向山紅葉の錦神のまにまに」という歌が百人一首にも見られ、口に出したときの柔らかかさや音の良さもありますが、決して他力本願でなく前向きに物事を受け入れ身を委ねる深さがある言葉だと感じます。
	さすてなぶる	きのした ゆうたろう 木下 侑太郎	大阪府高槻市	4歳になる息子が幼稚園でサステナブルという言葉を知りました。その頃からご飯を残すことや、すぐに買ったおもちゃで遊ばなくなったという事が減り、様々なモノを大切にするようになりました。
	万里一空	もりた かつし 森田 克敏	神奈川県川崎市	「万里」はとても遠い距離、「一空」はひとつ空の下。「万里一空」でどんなに離れていても、ひとつ空の下でつながっている。これが転じて、一つひとつ努力を積み重ねることが、遥か先にある目標に繋がっている。目標に向かって努力し続けることの大切さ、という意味になります。がんばり続けることに疲れてしまったら、広い空を見上げて、ゆっくりと、自分の目標に思いを馳せる…そんな時間も必要です。
たゆたう	こやま たかゆき 小山 貴之	東京都小平市	「たゆたう」とは、ゆらゆら動いてさだまらないという意味の日本語です。風景や心情どちらにも使うことができます。一見よくない意味にもとらえられますが、あわただしく素早く判断して行動することが求められる現代では、時には流れに身を任せてたゆたうことも、大事なかもしれません。	

□中学生以下の部

(順不同・敬称略)

別	今年のにほんご	応募者名	住所	理由
1席	あたらよ(可惜夜)	ふじせ まい 藤瀬 舞	神奈川県横浜市	夜に日本庭園を見たとき、月と星が輝き、草木が照らされていて、昼と異なる風情を感じました。暗くて怖い夜だけでなく、美しく明けて欲しくない夜、可惜夜もあることに気づいたので、これを選びました。
2席	アオハル	にしやま まなか 西山 愛風	神奈川県横浜市	中学3年生になり、思い出づくりに動いむなかでよく使っていた単語だからです。恋バナをするときに特によく使いました。修学旅行の夜に友達と深夜まで起きていたのはいい思い出です。青春と表記せずアオハルにすることによってより若々しさや初々しさが表現でき、中学生ならではのと思いました。今でしかできないことをたくさん楽しむことができた1年だと思います。
	わきあいあい	しみず あきと 清水 耀翔	石川県野々市市	ぼくのクラスはみんななかよしです。わらっているみんなの顔が思うかびます。せかいじゅう、わきあいあいとなればいいな。
3席	奏でる	さいとう そう 齋藤 奏	愛知県名古屋	命を奏で、死を謳う。それが人生だと思っている。 言葉も、感情も、我々が自ら奏でなければ誰の耳にも届かない。 自らが奏者となり、自分にしか奏でられない音を命が絶えるまでかき鳴らす。 しかし、人生は生だけでは完成しない。 死が在ってこそその人生なのだ。 つまり、生あるうちにひたすら奏で、最期に死を謳うことで人生という楽曲がようやく仕上がると。 「奏でる」という言葉は、まさに生を表しているのである。
	花筏	やまうち もえぎ 山内 萌生	石川県加賀市	意味は筏のように流れる水面に散った桜の花びらという意味。 初めてこの言葉を知った時綺麗に咲いていたのに散ってしまっって切ないなと思った、だが春が来た時実際に花筏を見た時とても驚いた。初めはやはり切なかったがしばらく見ているとなぜか美しく綺麗で淡いものに見えてきて心を奪われた、私はこの経験で視点が変わり物事を深く考えるようになった。 ゆっくりと散り、流れる花筏を見と1年を心穏やかに過ごすことができる
	幸え給え(さきわえたまえ)	おおた みはる 太田 珠暖	茨城県笠間市	七五三で神社にお参りした時に、「赦え給え、清め給え、守り給え、幸え給え」と書いてありました。「しあわせたまえでなくて、さきわえたまえと読むんだよ。幸せになるように導いてください。と言う意味なんだよ。」とお父さんが教えてくれました。しあわせも好きだけど、さきわえはもっとカッコいい言葉だなと思いました。
	あまえる	かとう あおい 加藤 葵	熊本県熊本市	小学校で毎日たくさん勉強をしたり、お友達と遊んだりしています。わたしはアメリカの学校に行っているため、英語の勉強もがんばっています。おうちにいる時はお母さんとお父さんにたくさんあまえたいです。抱っこしてもらうのが好きだからです。だからわたしはこの言葉を選びました。
	雨だれ石をうがっ	ふじおか せいじ 藤岡 聖史	東京都港区	どんなに小さな努力でも続けていけば大きな結果につながると信じて、今年はいくらでもコツコツと勉強も運動も努力する一年にしたいです。
	ただいま	おまつ はるき 尾松 春希	大阪府池田市	学校で嫌なことがあったとき、私はそれを早く母に聞いてほしくなります。嬉しいことがあったときも、早く言いたくなります。私にとって家は、どんなときでも安心できる場所です。「嫌なことがあったから、聞いて」「今日はこれが嬉しかったから聞いて」。何十年、何百年先の未来に生きる人も、そんな気持ちこめて「ただいま」と言っていたらいいな、と思います。
	わらう	たかとり まもる 鷹取 遵	兵庫県加西市	わらっていると、しあわせな気分になれるからです。かなしいときや、つらいときもあるけど、えがおのおい年にしたいです。
	あたりまえの毎日(ありがた)の毎日	おおや みと 大谷 美都	群馬県邑楽郡千代田町	私は数年前から、右足が痛くなることもあり、4年生のときに何度か歩けなくなったことがありました。病院には行きましたが原因がわからず、5年生になって病气だということがわかりました。そのため、私は今年の夏休みに手術をして入院をしました。しばらく車いすの生活でした。今まであたりまえにできていたことができなくなり、とても辛かったです。あたりまえの毎日にとても感謝しています。
	相照らす	こうの ゆら 河野 祐来	三重県四日市市	私が今年大切にしたい言葉は相照らすです。相照らすとは自分を本当の意味で理解してくれるものという意味です。辛くなったとき、親身になって話を聞いてくれる友の存在はこの先いつになっても大切にしていきたいです。
	たはむれ(戯れ)	かどや 角谷 マヒロ	北海道札幌市	脳こうそくで半年ぶりに帰宅した母を背負って、福祉タクシーから降ろした。 あまりの軽さに泣けてきた。 ふと、石川啄木の短歌を思い出す。 「たはむれに母を背負ひてそのあまり軽きに泣きて三歩あゆまず」 いま、世界中で争いが絶えない。 僕は「たはむれ」不足だと思う。「たはむれ」とは、いじったりじゃれたりすることではなく、コミュニケーションのこと。 全世界共通、最強のコミュニケーションが「たはむれ」である。
家族	やまもと こう 山本 晃央	山口県柳井市	僕は家族が大好きです。特にみんなで美味しいものを食べて「うま〜い」って言いあって笑顔になって…そんな時間が1番好きです。たくさんお話して、笑いあって過ごす時間が永遠に続きますように。僕は家族を、家族との時間を大切に過ごしたいと思います。	